


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和元年 11 月 13 日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第 5 号	質問議員	1 番	瀬戸恵津子 
件 名	防災対策と災害への対応策の見直しは			
要 旨				
<p>町では防災訓練や防災に関する啓発を行っています。平時の先にある緊急時といわれるように、普段やっていない事はいざというときにもできないといわれています。今回の台風 19 号のような豪雨は、これからも必ず起きるといわれていることを、町民の皆さんは十分承知しており、防災意識も高まっています。</p> <p>防災は最悪の事態を想定し、そのとき何をするのか決めておく危機管理が重要と考えます。山北町にあった現実的なことを強化すべきです。</p> <p>土砂の流出により甚大な被害を受けた、公共施設、観光施設、水道施設、道路、そして停電と被災状況は、復旧に多くの時間や財源を必要とするため、国や県への要望活動に尽力されている事と思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 町が発行している「わが家の防災ハンドブック」「山北町洪水ハザードマップ」「山北町土砂災害ハザードマップ」について、再検証する必要があると考えますが、いかがでしょうか。2. 避難所の開設は適正であるのか、今回のように 200 人以上の町民の方が避難されたことから検証はされましたか。3. 町は自主防災組織との連携により、地区にあった対策を強化育成すべきと考えます。来年の 6 月の梅雨時に備え、緊急性があると思いますが、どのように考えますか。また、専門的知見のある方を、防災リーダーとして雇用する考え方はありますか。 <p style="text-align: right;">以上</p>				